

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
障害者に対する支援と障害者自立支援制度(就労支援サービスを含む)Ⅱ Support for the Disabled and Support System for Independence of the Disabled(Including supporting services for employment)Ⅱ		1年	前期	別途、時間割表参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
大熊 信成	社会福祉棟 3F	火～金9:00～17:00 (授業 時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
すでに学習した障害児者福祉理念、法やその施策体系等をふまえ、障害児者に対する具体的関連分野(教育・生活環境・雇用と就労等)を学ぶことを通じて、障害児者福祉の現状と課題を体系的に理解する。特に、相談援助活動における自立支援の観点から、各種の就労支援制度の概要について学び・理解を深める。				
授業の到達目標				
①障害児者に対する相談援助活動について理解を深めることができるようにする。 ②障害児者福祉の課題を具体的・体系的に理解することができるようにする。 ③就労支援に係る組織、団体及び専門職について理解することができるようにする。 ④就労支援分野との連携について理解することができるようにする。				
授業の方法				
学生が主体的に障害児者福祉をとらえ・理解していくために、障害児者に対する福祉サービス及び関連分野のサービスについて、グループで課題学習しレポートにまとめ、発表する。それらをふまえ、就労支援サービスについては講義形式で授業を進める。				
学習の成果				
「障害者に対する支援と障害者自立支援制度(就労支援サービスを含む)Ⅰ」で得た知識を踏まえて、 ①障害児者に対する相談援助活動について理解を深めることができる。 ②障害児者福祉の課題を具体的・体系的に理解することができる。 ③就労支援に係る組織、団体及び専門職について理解することができる。 ④就労支援分野との連携について理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業のねらいと進め方、成績評価についての説明等)			
第2回目	障害者の雇用の促進等に関する法律の概要			
第3回目	グループでの課題学習及び発表-その1(保健・医療、教育)			
第4回目	グループでの課題学習及び発表-その2(雇用・就業、所得保障・経済負担の軽減)			
第5回目	グループでの課題学習及び発表-その3(生活環境の改善、情報保障)			
第6回目	グループでの課題学習及び発表-その4(権利擁護、障害者理解の促進とボランティア活動の推進)			

第7回目	グループでの課題学習及び発表-その5(文化・スポーツ・レクリエーション活動)	
第8回目	雇用・就労の動向(労働市場の動向、ライフスタイルに応じた多様な働き方、障害者の雇用・就労を取り巻く情勢等)、労働法規の概要	
第9回目	就労支援制度の概要(生活保護制度における就労支援制度、障害者福祉施策における就労支援制度、障害者雇用施策の概要)	
第10回目	就労支援に係る組織、団体の役割と実際(国・都道府県・市町村の役割、ハローワーク・職業リハビリテーション機関の役割と活動の実際等) レポート「障害者の就労支援についての留意点」	
第11回目	就労支援に係る専門職の役割と実際(生活保護制度に係る専門職の役割、障害者福祉施策に係る専門職の役割等)	
第12回目	就労支援分野との連携と実際(生活保護におけるハローワークとの連携、障害者雇用施策との連携、障害者福祉施策との連携等)	
第13回目	相談援助活動事例(グループディスカッション)	
第14回目	就労支援における相談援助活動事例(グループディスカッション)	
第15回目	総括 まとめ 論述式筆記試験(定期試験)	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度	10%	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、授業に臨むことができる。
レポート	20%	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。序論、本論、結論と3部構成になっている。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	50%	論述式・選択式で行う。
発表内容(態度含む)	20%	積極的態度で発表に臨んでいる。根拠に基づきポイントを押さえている。明瞭でわかりやすく説明できている。
その他		
教科書と参考図書		
桐原宏行 責任編集「就労支援サービス」弘文堂、「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」(*「同Ⅰ」と共用)		
履修上の心得・ルール		
学習したことを基礎として、出来る限りボランティア活動に参加し、障害児者と直接触れる機会を作るよう心がけて欲しい。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。		